

個人投資家様向け 会社説明会

2024年3月7日



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

証券コード：5832 （東証プライム）

目次

I. ちゅうぎんフィナンシャルグループの概要

- 会社概要 5
- 組織体制 7
- 事業基盤 8
- 財務・非財務ハイライト 9

II. 経営戦略

- 経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』 13
- 中期経営計画「未来共創プラン ステージIII」 14
 - なぜ地方創生SDGs? 15
 - 利益計画 17
 - 中計による企業価値向上 18
 - 1. 地方創生SDGsの「深化」 20
 - 2. イノベーションの創出 30
 - 3. グループ経営基盤の強化 36

III. 株主還元

- 株主還元方針 43
- 株価推移・主要指標 44
- 株主優待制度 45



本日お伝えしたいこと

1. ちゅうぎんフィナンシャルグループの概要

- 岡山、香川、広島、兵庫を中心とした広域ネットワークで総合金融サービス業を展開
- 2022年10月に持株会社体制へ移行し、**成長に向けて業務軸を大きく拡大**
(地域社会・お客さまと相互に発展する持続可能なビジネスモデルを構築)

2. 経営戦略

- 地域の課題に対して、当社が主体となって「川上」から「面」でソリューションを提供
- 良質なアセットビジネス、コンサルティング等のフィービジネス等を拡大

【利益計画】 **204**億円（2022年度実績）  **300**億円へ（2026年度計画）

3. 株主還元、株価

- 「配当と自己株取得による総還元率**40%以上**」（銀行株の中でも高水準）
安定的な**配当拡大**と機動的な**自己株取得**の実施により、今後も株主還元を強化
- 株価水準は割安（PBR※：約0.4倍）、中期経営計画の達成を通じた**企業価値の向上**へ

I. ちゅうぎんフィナンシャルグループの概要

会社概要

グループ 経営理念

地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する

名称	ちゅうぎんフィナンシャルグループ
設立	2022年（令和4年）10月3日
創立	1930年（昭和5年）12月21日 （中国銀行）
創業	1878年（明治11年）12月9日 （前身の第八十六国立銀行）
所在地	岡山県岡山市北区丸の内1丁目 15番20号
代表者	代表取締役社長 加藤貞則
店舗数	140カ店（東京、大阪、海外含む）
資本金	160億円
従業員数	4,704名（連結）（'23/3末）
格付※	A2（Moody's） A+（格付投資情報センターR&I）

145年
の歴史



（海外拠点）



※中核銀行である中国銀行の格付け

ちゅうぎんフィナンシャルグループについて

ちゅうぎんグループの沿革

1878年（明治11年）、第八十六国立銀行として設立した中国銀行は、昭和初期の社会的な金融不安を乗り越え、地域のみならずとも成長してきました。多様化するお客さまのニーズにお応えするため、2022年（令和4年）、ちゅうぎんフィナンシャルグループを設立し新たなスタートを切りました。さまざまなグループ会社とともに最適なソリューションを提供し、地域の課題解決や地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。



2022年10月

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

中国銀行の動き

- 1878年（明治11年）中国銀行の淵源である第八十六国立銀行設立
- 1919年（大正 8年）第一合同銀行設立
- 1924年（大正13年）山陽銀行設立
- 1930年（昭和 5年）中国銀行創立



- 1985年（昭和60年）大阪証券取引所第二部に上場
広島証券取引所に上場
- 1987年（昭和62年）大阪証券取引所第一部へ指定替え
東京証券取引所第一部に上場
- 1990年（平成 2年）CI(Corporate Identity)導入、中国銀行に商号変更



- 1992年（平成 4年）現在の本店ビル完成
- 1994年（平成 6年）香港支店開設
- 1995年（平成 7年）住宅ローンセンター開設
- 1996年（平成 8年）上海駐在員事務所開設
- 1998年（平成10年）シンガポール駐在員事務所開設
- 2006年（平成18年）コンサルティングプラザ開設
- 2008年（平成20年）ちゅうぎんビジネスセンター開設



- 2015年（平成27年）バンコク駐在員事務所開設
- 2017年（平成29年）長期経営計画「Vision 2027『未来共創プラン』」策定
- 2019年（令和 元年）おかやま共創パートナーシップ協定締結
- 2021年（令和 3年）岡山大学と地方創生SDGsによる未来共創に関する協定書締結
- 2022年（令和 4年）「ちゅうぎんキャピタルパートナーズ」設立
「ちゅうぎんヒューマンイノベーションズ」設立
「Cキューブ・コンサルティング」設立
「ちゅうぎんフィナンシャルグループ」設立し、持株会社体制へ移行
東京証券取引所プライム市場へ上場
- 2023年（令和 5年）「ちゅうぎんエナジー」設立
シンガポール支店開設



1878~1970

創業から合併を経て、中国銀行創立へ

経営危機を乗り越え、自主健全経営へ
県外への進出、広域店舗網へ

1971~1990

商号を中国銀行へ、上場しさらなる飛躍

金融新時代への挑戦
地域の国際化への対応

1991~2010

本店ビル完成、海外への進出など経営体力を強化

地域社会とともに発展する銀行へ
新たなパートナーシップの展開

2011~2023

変化する顧客ニーズに対応し、ESG経営を加速、グループ総合力を強化

新たなステージ

事業基盤（高いポテンシャル）

人口は総務省「人口推計（2022年）」

豊富な森林資源

- ・日本有数の木材生産地であり、また豊かな水源と多様な生物に恵まれた自然の宝庫。
- ・バイオマス等の再生エネルギーを活用して地域の活性化が進むなど、循環型社会への取組みが加速。

全国有数の工業地帯

- ・南部では全国でも有数の水島臨海工業地帯を有し、石油、化学、鉄鋼、自動車など幅広く製造業が集積。

広域な東瀬戸経済圏

- ・岡山県、香川県、備後地区※は同一の広域経済圏として高いポテンシャルを持つ。
- ※岡山県：笠岡市、井原市
広島県：三原市、尾道市、福山市、府中市、世羅町、神石高原町

温暖な気候と少ない災害

- ・岡山県は降水量1mm未満の日が多く「晴れの国」と呼ばれる温暖な気候。



岡山県276.7日 全国1位！

（降水量1mm未満年間日数 気象庁）

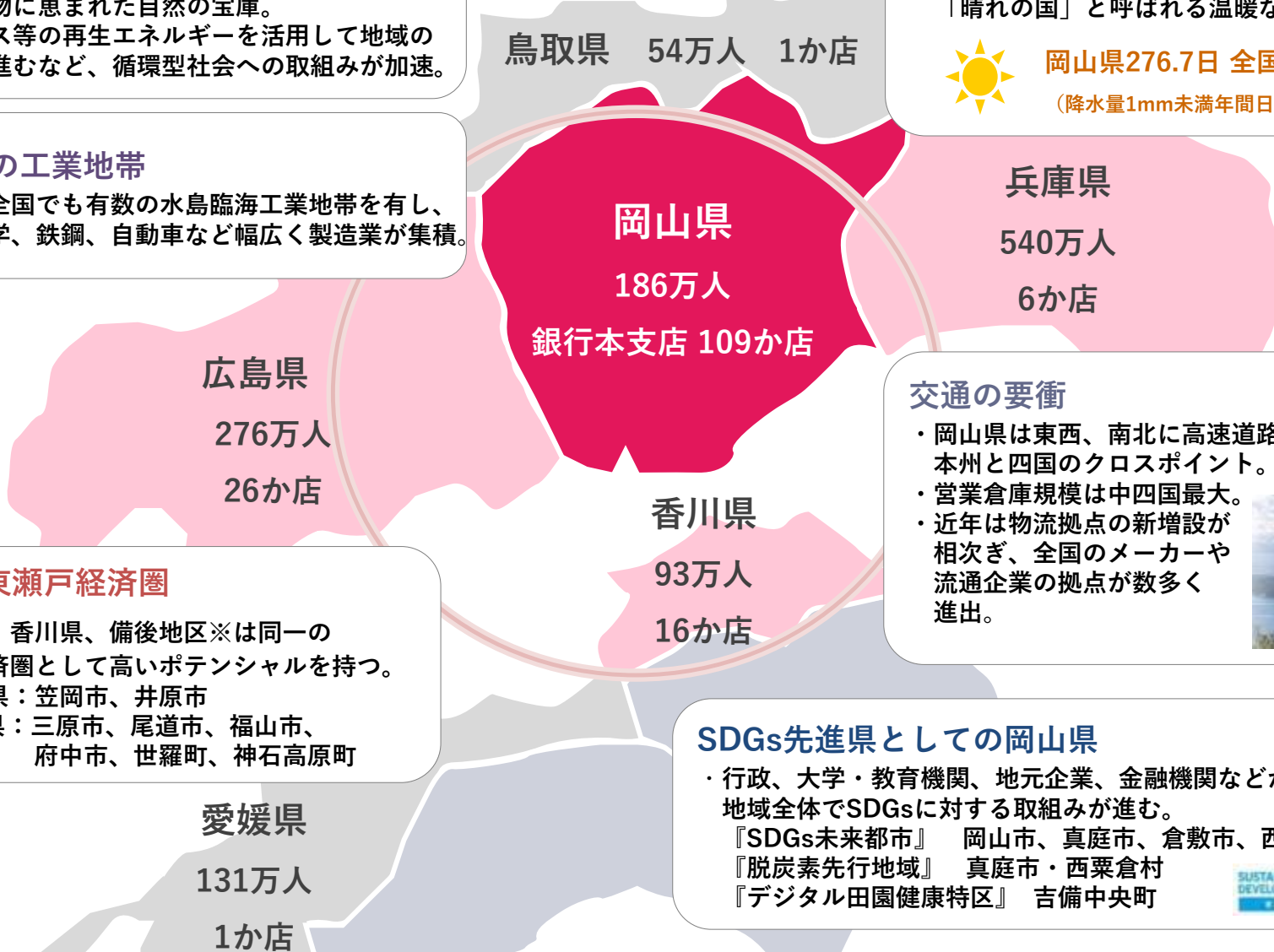
交通の要衝

- ・岡山県は東西、南北に高速道路が交わる本州と四国のクロスポイント。
- ・営業倉庫規模は中四国最大。
- ・近年は物流拠点の新增設が相次ぎ、全国のメーカーや流通企業の拠点が数多く進出。



SDGs先進県としての岡山県

- ・行政、大学・教育機関、地元企業、金融機関などが連携し、地域全体でSDGsに対する取組みが進む。
- 『SDGs未来都市』 岡山市、真庭市、倉敷市、西粟倉村
- 『脱炭素先行地域』 真庭市・西粟倉村
- 『デジタル田園健康特区』 吉備中央町



預金

8.0兆円

(預金 + NCD)
(2022年度平残、銀行単体)

地方銀行
13位

岡山県内
シェア51%

貸出金

5.4兆円

(2022年度平残、銀行単体)

地方銀行
13位

岡山県内
シェア43%

メインバンク社数

全国 **13,608社**

岡山県 **11,034社**

(出典：帝国データバンク2023調査より)

地方銀行
9位

岡山県内
シェア46%

有価証券

2.3兆円

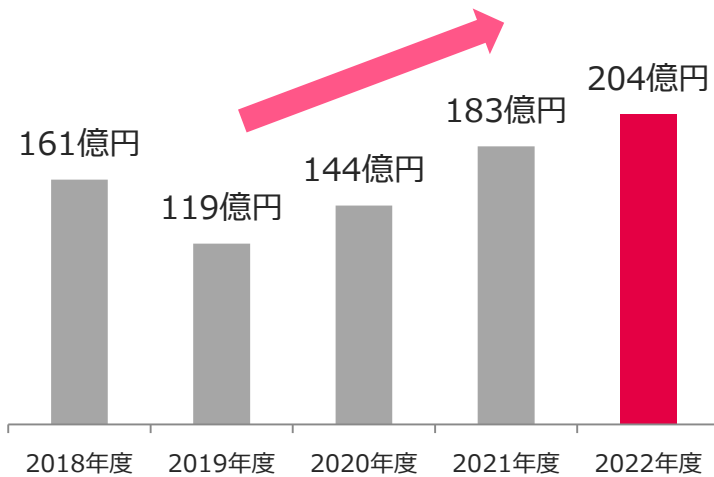
(2022年度平残、銀行単体)

地方銀行
11位

財務ハイライト

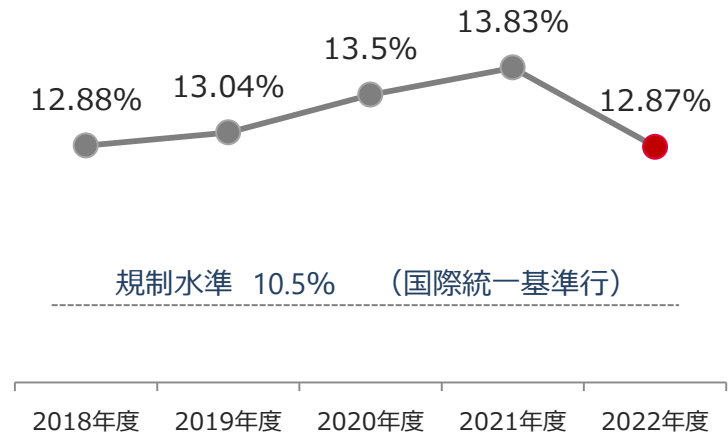
利益

(親会社株主に帰属する当期純利益)

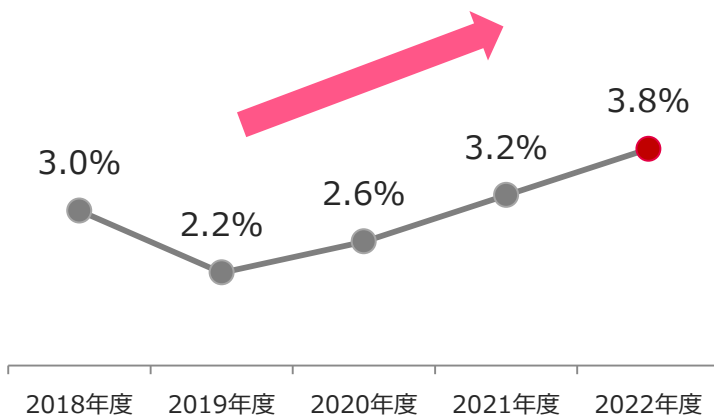


連結総自己資本比率

(国際統一基準)

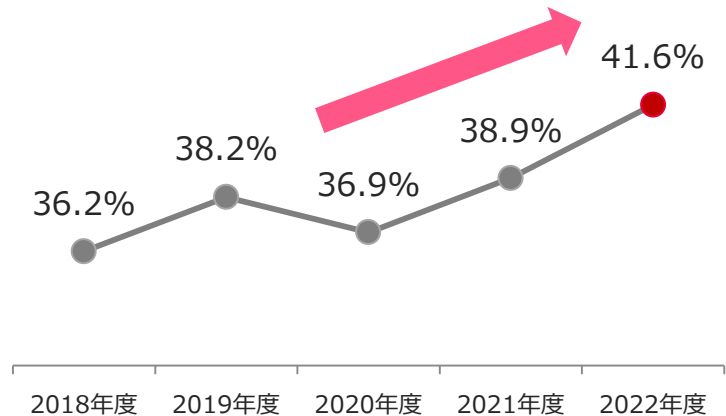


ROE



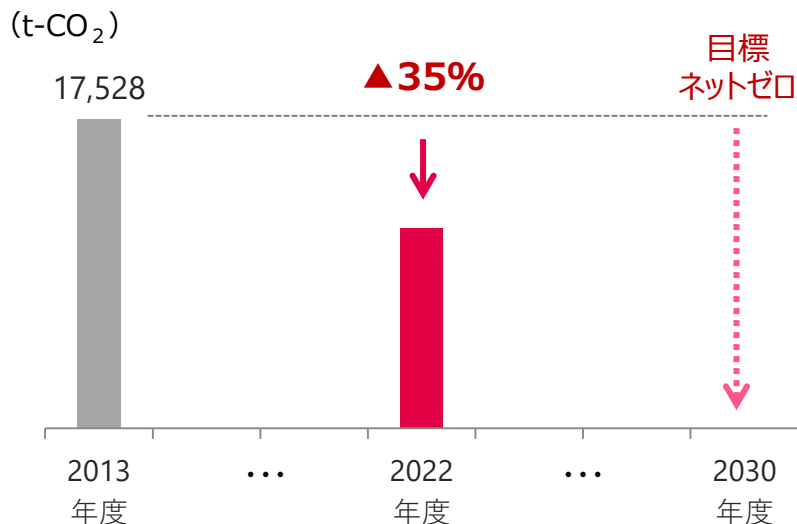
総還元率

(配当 + 自己株取得)

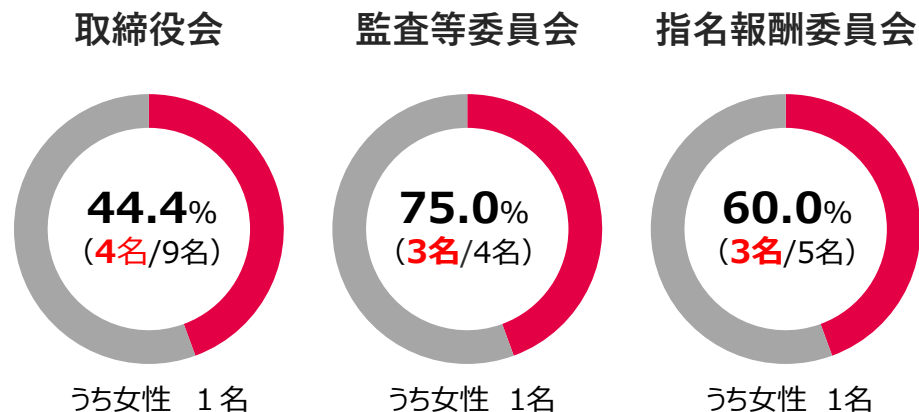


非財務ハイライト

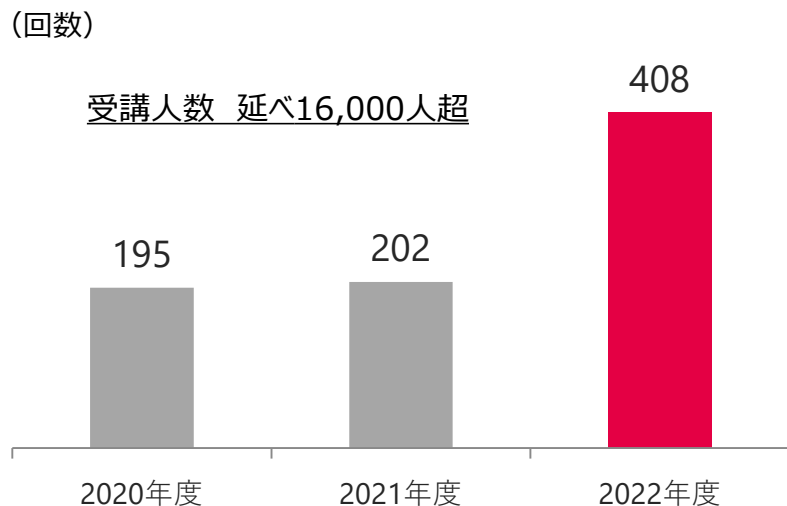
CO2 排出量削減率 (2013年度比)



社外取締役比率



金融リテラシー向上に資する活動



外部評価



※環境問題への取組みを8段階で評価「A、A-、B、B-、C、C-、D、D-」

Ⅱ. 経営戦略

経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』

人口減少等の社会環境の変化に打ち克ち、持続可能なビジネスモデルを構築すべく、
2017年3月に「**地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来を共創する**」ことを長期
ビジョンとした期間10年の長期経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』を策定しました。

【長期ビジョン達成にむけたフレームワーク】



豊かな未来を創る取組み

- 提供するサービスの質の向上
- サービスを提供する機会の拡大



経営の土台を創る取組み

- サービスを提供するための体力の強化
- 一人ひとりの心の変革と組織風土改革

2017年度 ← 3年間 → 2020年度 ← 3年間 → 2023年度 ← 4年間 → 2026年度

長期経営計画『Vision2027「未来共創プラン」』

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅠ」

構造改革（ハード面強化）

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅡ」

行動改革（ソフト面強化）

中期経営計画
「未来共創プラン
ステージⅢ」

成果発揮・新たな挑戦

中期経営計画 「未来共創プラン ステージⅢ」

1 地方創生SDGsの「深化」

地域の魅力・ポテンシャルを引き出し「**地域の持続的な発展**」に貢献します

地方創生	▶ DX・SXを起点とした地域を面で捉えた取組み、創業支援、SDGs活動を強化
地域応援活動	▶ 川上から川下までの一貫したソリューションを提供 ▶ サステナブルファイナンスを強化
ライフプランサポート活動	▶ お客さまのライフプランの実現を支援 ▶ 安定した資産形成・安心する資産承継の支援を強化

対応するマテリアリティ

地域経済・社会の活性化

少子高齢化社会への対応

環境経営の促進

DXの推進

2 イノベーションの創出

次なる成長に向けた「**新たな価値**」を創造します

DX	▶ 業務プロセス改革・次世代チャネル・デジタル人財育成を推進
新規事業	▶ 協業によってグループ独自の新規事業を創出
アライアンス	▶ 広域連携・地域連携・異業種連携を積極的に展開

対応するマテリアリティ

DXの推進

多様な人財の活躍推進

3 グループ経営基盤の強化

成長戦略を実行するための「**強固な土台**」を築きます

ポートフォリオ	▶ 事業ポートフォリオの最適化と経営資源の戦略的な配賦を実践
財務資本	▶ 健全性・収益性・株主還元の観点で適切な財務運営を実行
人的資本	▶ 事業戦略に沿って「人的資本投資」を大幅に拡大
ダイバーシティ	▶ 多様な人財の採用・活躍推進を強化
ガバナンス	▶ グループ全体での内部統制システムを高度化

対応するマテリアリティ

多様な人財の活躍推進

ガバナンスの高度化

DXの推進

なぜ、地方創生SDGs？

地域の課題

- ✓ 人口減少
 - ✓ 地域経済の衰退
 - ✓ 脱炭素移行
- など



ちゅうぎん
フィナンシャルグループ
の課題

地域の発展が
当社の持続的成長へ

地域課題の解決は当社にとっても
大きな**ビジネスチャンス**

〔 持株会社体制へ移行し
ソリューション機能を強化 〕



地域課題の解決が収益へ

金利収益（利息など）と非金利収益（手数料など） 双方が拡大

これまでの取組み

構造改革

（ハード面強化）

- ・BPR投資
（事務から営業へ）

行動改革

（ソフト面強化）

- ・自律的営業体制
- ・人事制度
- ・新事業開拓加速

持株会社体制

（業務軸を拡大）

- ・コンサルティング
- ・エネルギー
- ・人材紹介
- ・投資、出資 など

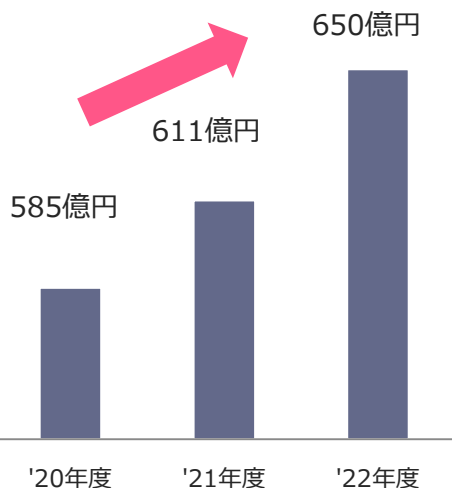
地域課題の 解決

✓ **アセットビジネス**
（投資、融資など）

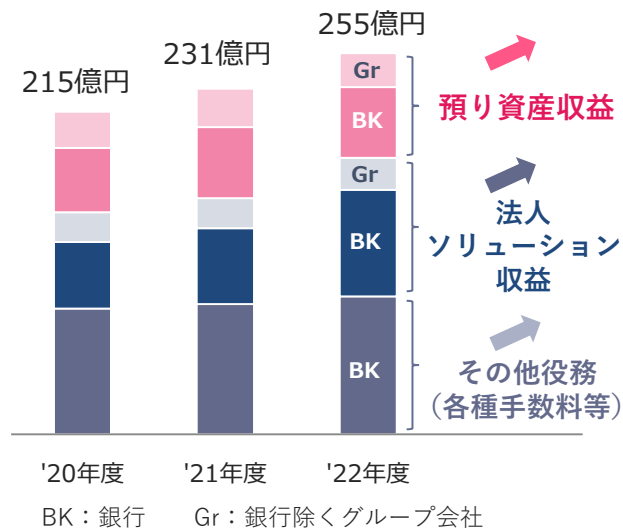
✓ **フィービジネス**
（コンサルティングなど）

着実に出ている**成果**

金利 収益（利息など）

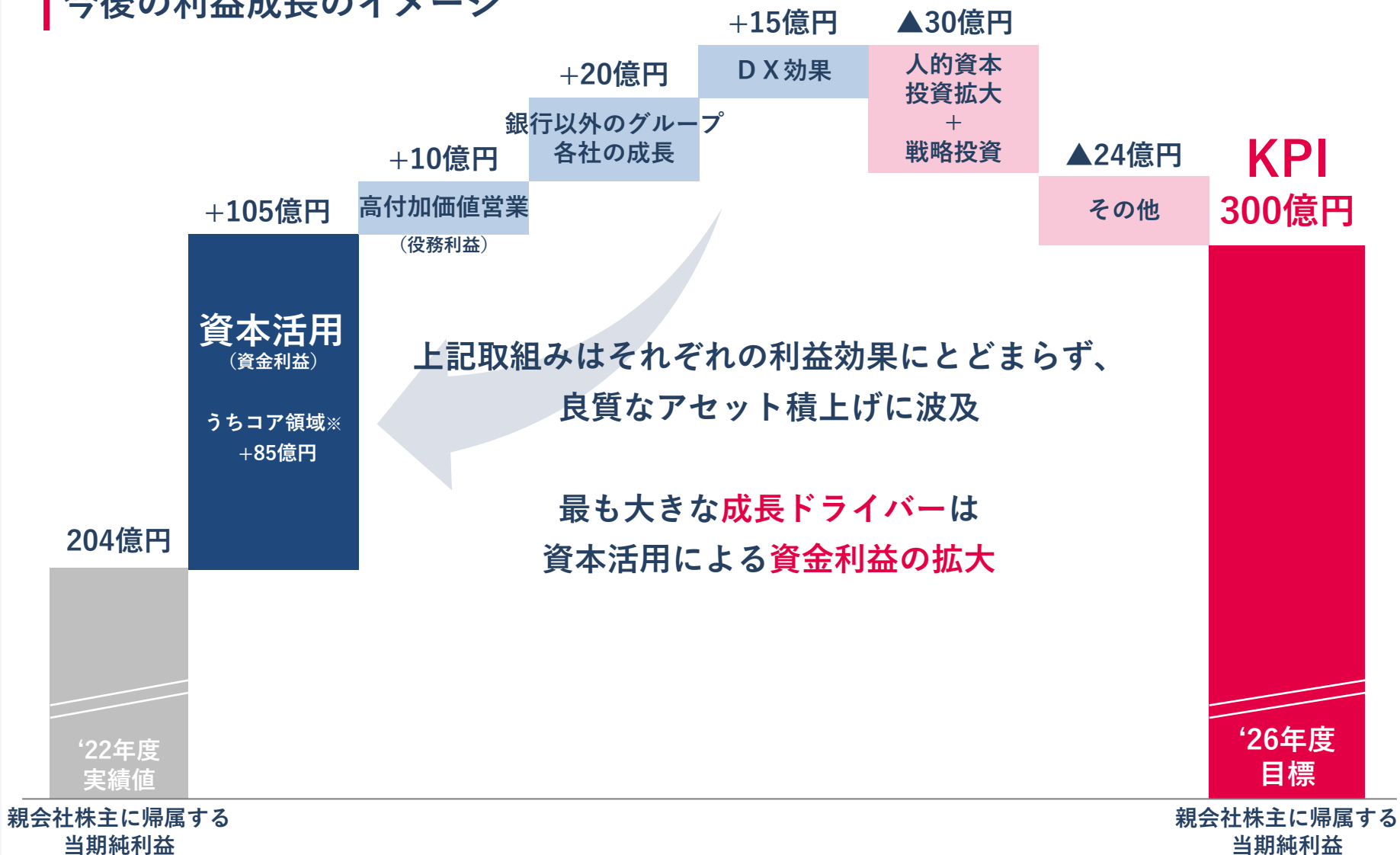


非金利 収益（手数料など）



利益計画

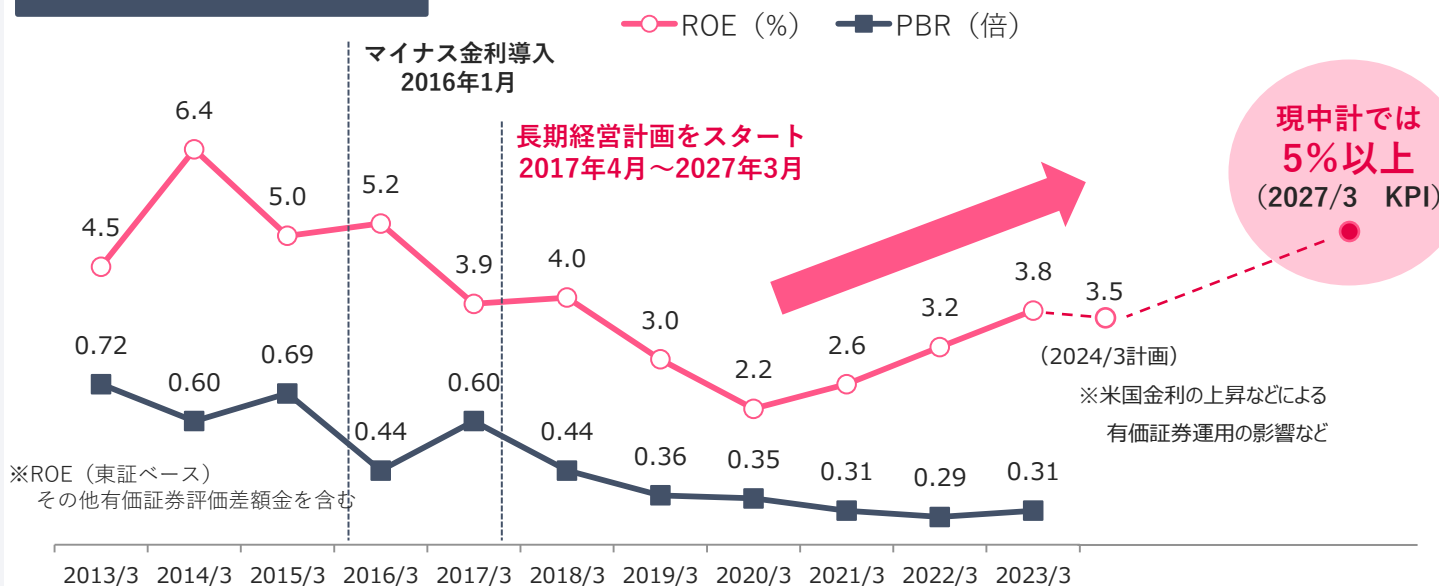
今後の利益成長のイメージ



※ コア領域：地元事業性貸出金、個人ローンなど

(ご参考) – 中計による企業価値向上 –

ROE・PBRの推移と目標



さらにその先へ

現中計では
5%以上
(2027/3 KPI)

資本コスト

PBR・ROE実績
による算定値 **10%前後**

CAPMによる
当社推定値 **6%程度**

PBRの改善に向けて

マイナス金利導入以降、ROEは低下。
長期経営計画に基づく構造改革・行動改革により、
足元ではROEは着実に改善。しかしPBRは低水準に推移。

ステージ



2017.4～
2020.3

構造改革
(ハード面強化)

- BPR投資
(事務から営業へ)

ステージ



2020.4～
2023.3

行動改革
(ソフト面強化)

- 自律的営業体制・人事制度
- 新事業開拓加速
- 持株会社体制移行

PBR改善に向けて、3つの成長戦略により

ステージ



2023.4～
2027.3

ROEの更なる改善・向上

良質なアセットの積上げ、事業軸の拡大など

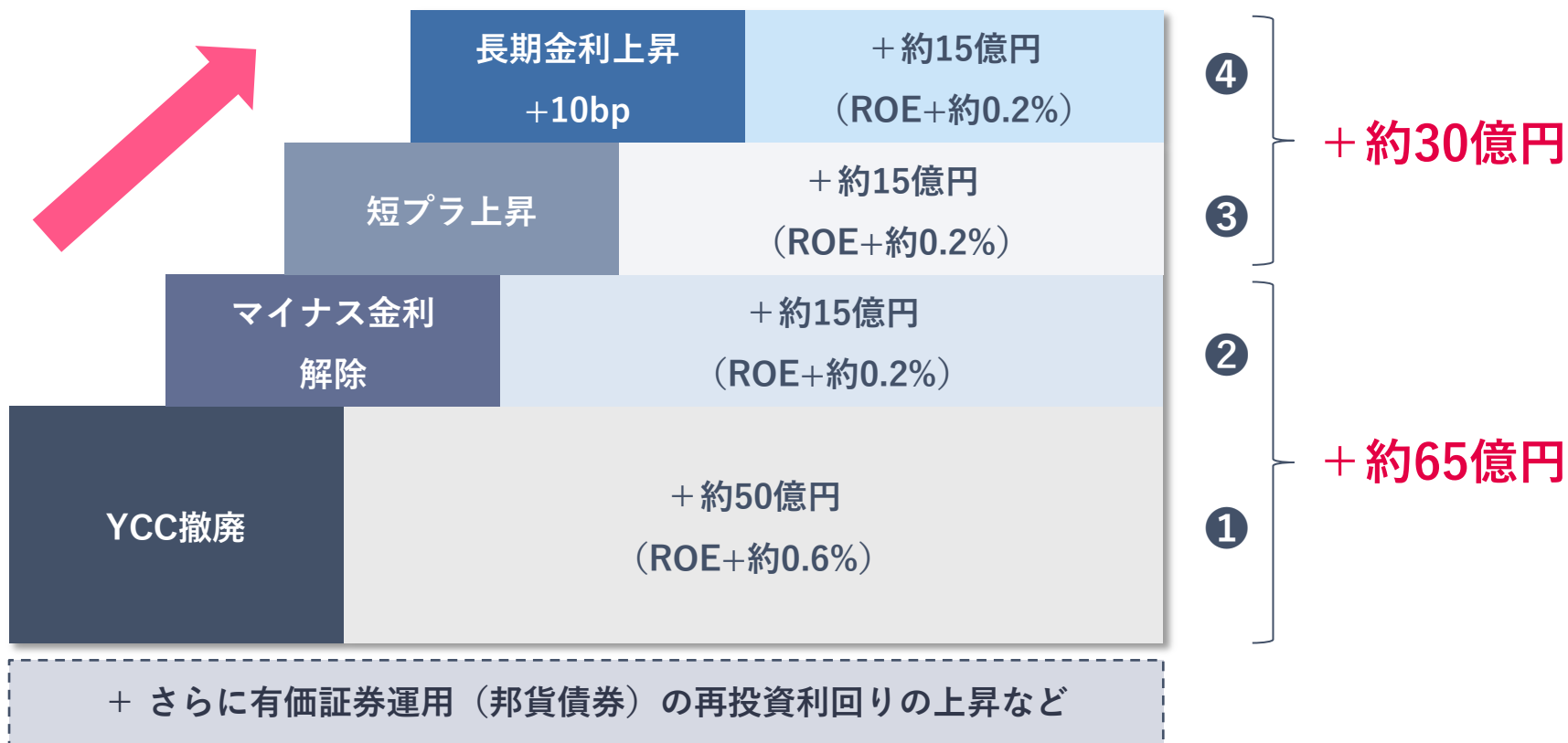
PERの向上 (資本コストの引下げ)

地方創生SDGsを通じた持続的な利益成長など

（ご参考）－今後の金利上昇による貸出金利息の拡大－

今後の金融政策修正によって、**貸出金利息は大きく上昇を見込む**

2026年度の邦貨貸出金利息の影響（試算） **合計＋約95億円**



（シミュレーションの前提条件等）

※'23年度の貸出金利息（中期経営計画ベース）に対する増加影響を試算

※残高増減要因は考慮していない

※追従率80%で概算

※①②は中計金利シナリオに織込み

①YCC撤廃

②マイナス金利解除

③短期プライムレート

④各年限のTIBORスワップレートが10bp上昇

・・・YCC（イールドカーブコントロール）の撤廃により、長期金利（10年）1%水準が継続

・・・政策金利0% TIBOR10bp上昇

・・・政策金利0.1% 短プラ+20bp上昇

1. 地方創生SDGsの「深化」

地方創生SDGsの「深化」

ちゅうぎんグループは、事業活動を通じ、地域社会・お客さまと相互に発展する未来を共創することを目指しています。

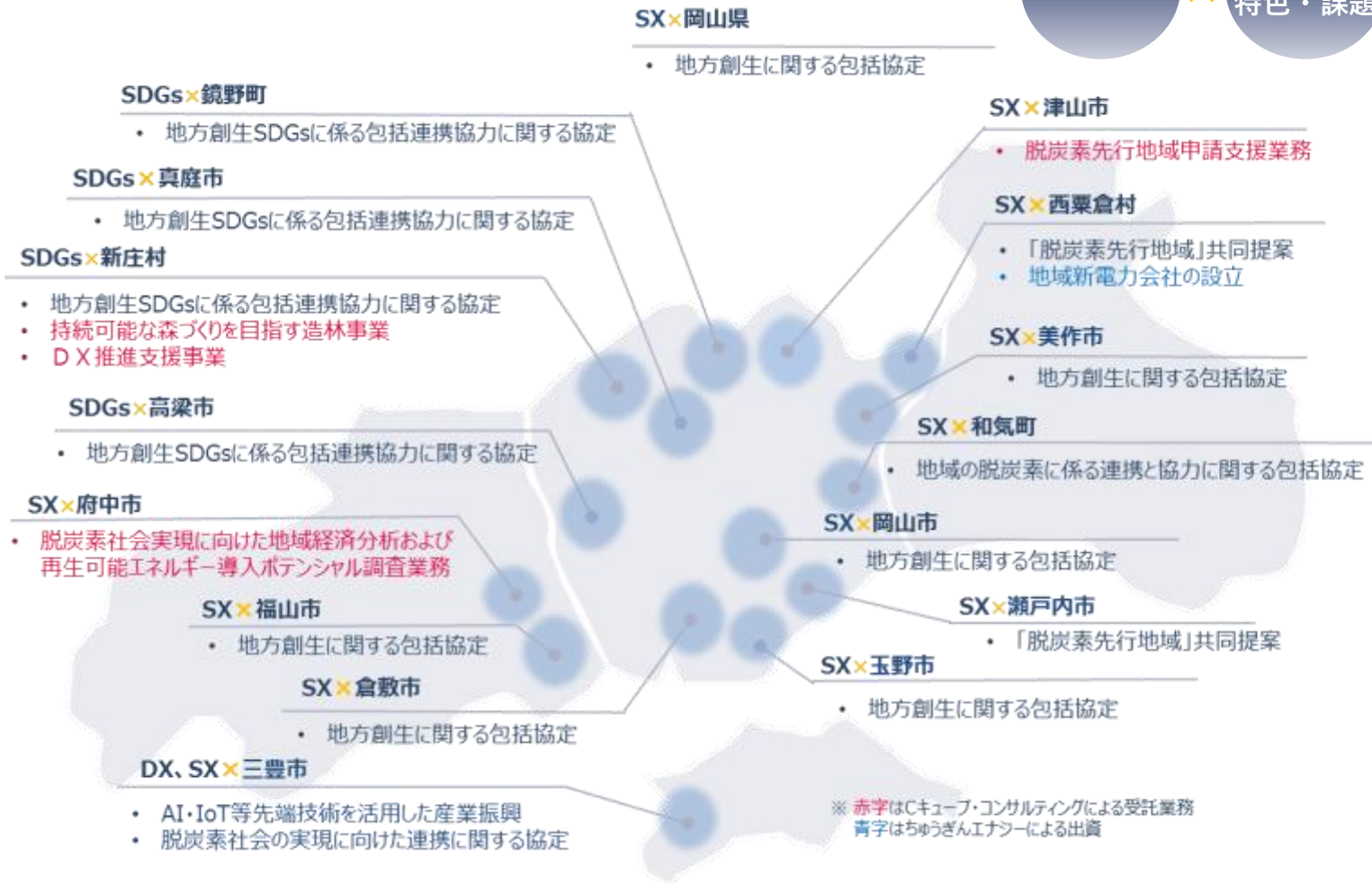
「地域課題の解決による魅力ある地域社会の共創」「サステナブルで活気ある事業環境の共創」「生活不安なき豊かな暮らしの共創」に取り組むことで、**地域の魅力やポテンシャルを引き出し、地域の持続的な発展に貢献**します。

また、グループ役職員のSDGs活動の底上げに取り組み、SDGsの浸透を進めていきます。



地域を面で捉えた取組み

様々なソリューションサービスを有するグループの強みを活かし、地域を面で捉えた取組みを強化します。地域のステークホルダーやパートナーとともに、DX・SX等と各地域の特色・課題を掛け合わせ「**魅力ある地域の共創**」を目指します。



※DX（デジタル・トランスフォーメーション）：デジタル技術を用いて、事業に革新的な変化をもたらすこと。

※SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）：企業が持続可能性とESG（環境・社会・ガバナンス）の両立により経営を行うこと。

事業軸の拡大

Cキューブ・コンサルティング

設立日 2022年9月1日

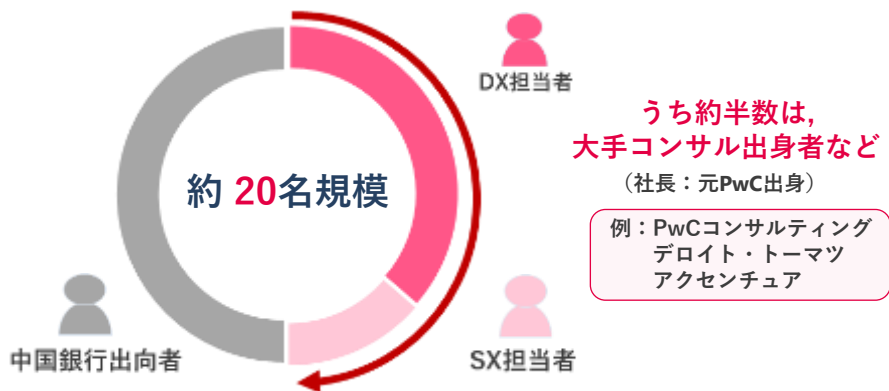
多様化・複雑化する地域課題



DX・SXを核として地域の社会課題の解決へ

特徴

地方創生に熱い思いを持った**少数精鋭のプロ集団**



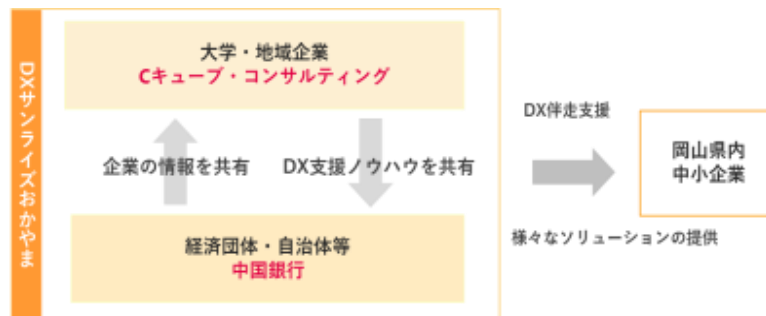
ちゅうぎんグループの**総合力**で地域をデザイン

取組事例

DX – 岡山県内中小企業へのDX推進に対する支援 –

産学官金連携支援コミュニティである「DXサンライズおかやま」に参画。(2023年7月)

岡山大学や県内企業などと連携し、地域の中小企業のDXをサポート。



SX – 自治体の脱炭素化に向けた支援 –

環境省が募集する「脱炭素先行地域」において中国銀行が西粟倉村および民間企業2社とともに共同提案を実施し、西粟倉村は「脱炭素先行地域」に選定。

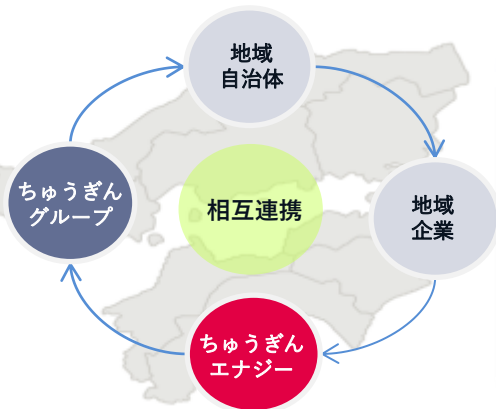
Cキューブ・コンサルティング中心に計画作成・進捗管理を担い、地域の脱炭素化に向けて伴走支援。



業務軸の拡大

ちゅうぎんエナジー

設立日 2023年4月3日



脱炭素化を推進する地域エネルギー会社

特徴

事業主体としてちゅうぎんグループが直接的に関与し、地域の脱炭素、SXを強力に推進。

〈事業内容〉

1. 太陽光PPA事業※ 設立後11か月で11件の成約
2. 再エネ発電所の買取・売電事業
3. 自治体新電力等の立上げ支援・投融資事業
4. 蓄電池等を活用した環境エネルギー事業

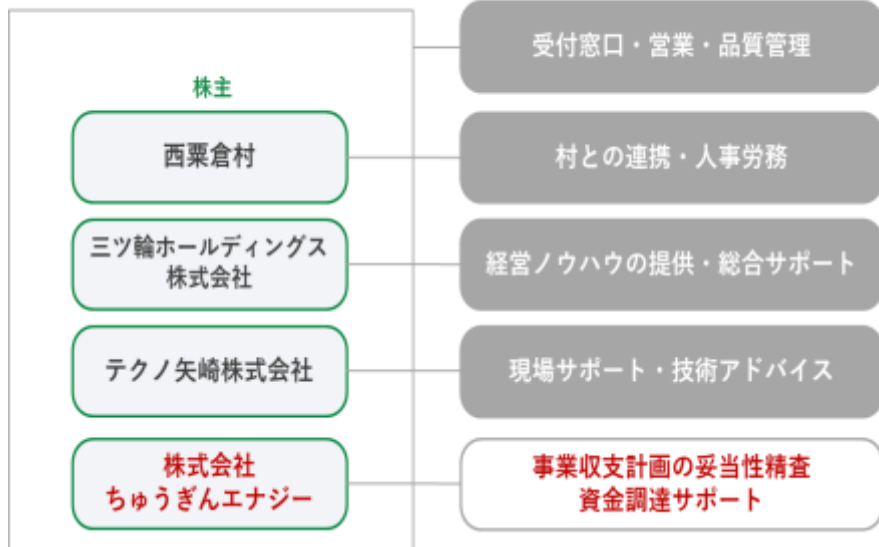
※PPA(Power Purchase Agreement)…電気を発電する電力事業者と、需要家（電力の使用者）との間で結ぶ「電力販売契約」

取組事例

地域の脱炭素化に寄与する新電力会社設立



役割



西栗倉村「百年の森林構想」の一環として、豊かな自然が生み出す自然エネルギーを電力として活用し、村内で循環するシステムを構築。

再生可能エネルギーに特化した技術やノウハウの提供を通して、村内の経済循環と脱炭素化推進に寄与。

地域応援活動（法人・事業主のお客さま）

「お客さまとの積極的なエンゲージメント活動」および「コンサルティング・ファイナンス両面の支援」により、**地域全体のサステナビリティ向上**をグループ一体となって推進します。

コンサルティングメニュー

自治体

地域社会のカーボンニュートラル実現を支援

- 地域脱炭素構想企画・立案支援
- 公共施設等での再エネ導入計画策定支援
- 地域課題解決型再エネ利活用支援
- プロジェクト支援・交付金申請支援 など

大企業等

お客さまのS X実現を支援

- 温室効果ガス排出量算定/削減支援
- S X戦略/ロードマップ策定支援
- 事業ポートフォリオ改革支援 など

中堅企業

お客さまのSDGs・脱炭素に向けた取組みを促進・支援

ちゅうぎんSDGsサポート

- 課題抽出、SDGs宣言書作成・対外PR支援 など

ちゅうぎん脱炭素コンサルティング

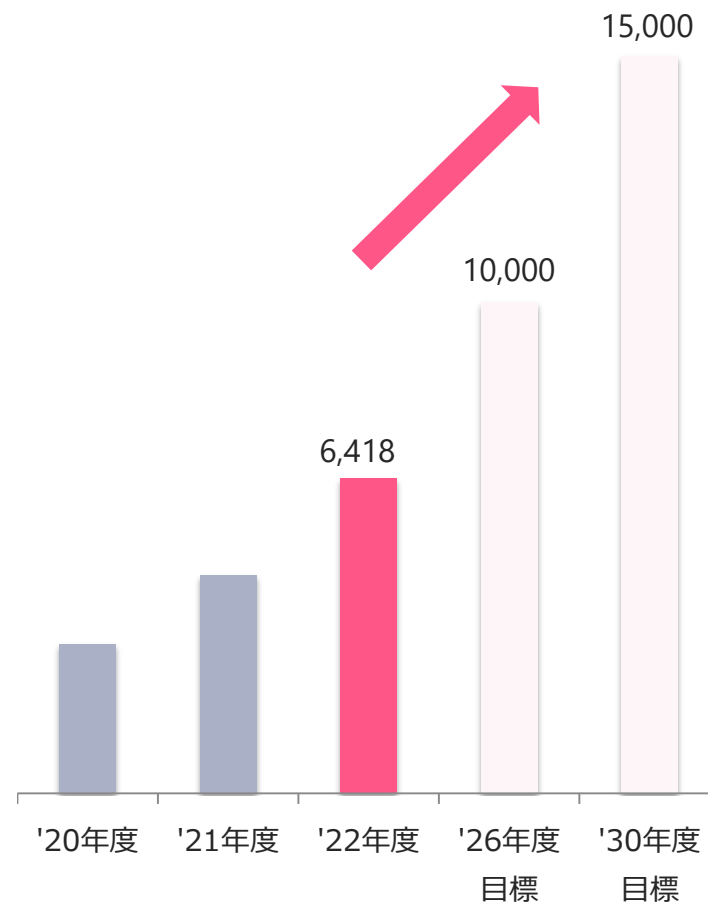
- 温室効果ガス排出量算定/排出量削減目標支援 など

ビジネスマッチング

- CO₂排出量把握・管理
- 省エネ・再エネ事業者 など

中小企業等

サステナブルファイナンス累計実行額（億円）



地域応援活動（法人・事業主のお客さま）

シンガポール支店の開設

'23/6 駐在員事務所から支店に昇格

※ Return On Risk Weighted Asset … 自己資本比率規制上のリスクアセットに対する収益率を示すリスク・リターン指標

ねらい

香港に並ぶアジアの金融都市であり、東南アジアのハブであるシンガポールへ出店

①東南アジア進出のお取引先のサポート強化

- お客さまの海外現地法人において最もニーズが大きい金融関連サービス（預金・融資・決済機能）のサポート
- 地元企業のみならず上場企業等の海外現地法人との取引も拡大

②地場産業である海事産業への取組み強化

- 海事産業は瀬戸内の地場産業であり、またシンガポールの特徴的な産業
- 現地における海事産業向けファイナンスの強化を通じて、取引深耕による良質な案件の積上げや船舶分野でのプレゼンス向上
- 脱炭素やSX分野等でのビジネス拡大

③現地金融機関等との連携によるビジネスチャンス

- 現地金融機関とのリレーション構築によるアジアのシンジケートローン獲得・外貨調達枠の確保など

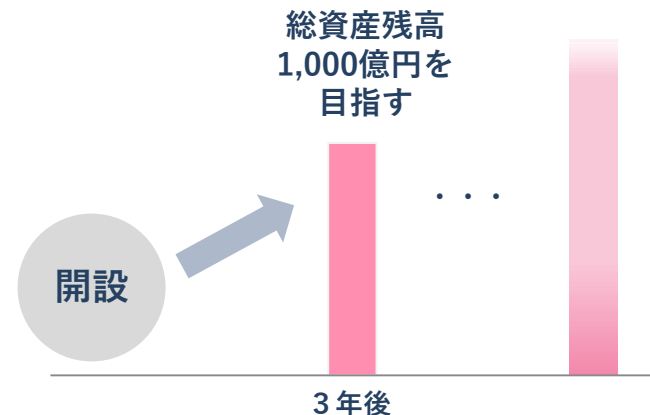
高い収益性
(SP率、RORA※)

専門人財の育成
(ノウハウ等の蓄積)

海外での新しいビジネス
チャンスへのチャレンジ



※参考：支店入居オフィス



創業支援の取組み

創業エコシステム

岡山イノベーションプロジェクト、岡山テックプランターの2つの事業を主軸に形成する「**創業エコシステム**」を土台として、スタートアップコミュニティ支援・グループ横断的なハンズオン支援・外部機関連携を強化し、**地域を代表する企業の創出**を目指します。



創業エコシステムでの新設法人数

25社

(2023年9月末迄 累計)



エクイティでの支援（グループ連携）

ちゅうぎんキャピタルパートナーズ

<運営ファンドの一例>

インフィニティ
ファンド

スタートアップ **36社** (約**8億円**)

うち地元関連**15社**
("地域課題解決型企業"をテーマに出資)

ライフプランサポート活動（個人のお客さま）

グループ一体となった総合金融サービスにより、お客さまの「豊かな人生設計」や「経済不安の解消」、
「次世代への円滑な資産移転」などライフプランに沿った夢の実現をサポートします。

豊かな人生設計

経済不安の解消

次世代への円滑な資産移転

お客さまの
ライフプランに
沿った夢の実現へ

夢実現のサポート

	ねらい	主要施策
I 豊かな未来の共創 ライフプランや夢実現に向けた 計画的な資産形成のサポート	ライフプランの見える化と実現に向けたサポート	ライフプランシミュレーションを もとにしたコンサルティング
	安定的な資産形成に向けた貯蓄から投資への後押し	新NISAの普及・促進活動強化
	ネットワークを活かした職域へのアプローチ	職域等への金融経済教育の推進
II 総合金融サービスの深化 お客さま本位の営業体制の再構築と グループでの提供価値の最大化	体制の再構築による営業効率性の改善	お客さま起点でのセグメンテーショ ンの再構築
	グループ機能を活かした総合金融サービスの提供	グループ連携の強化・最適化
	次世代への円滑な資産移転に向けた体制強化	相続ビジネスの営業体制充実
III お客さま体験の向上 パーソナライズによるタイムリーで 最適な提案機会の創出	デジタル機能の充実による利便性向上と接点拡大	ちゅうぎんアプリの機能拡充
	非対面営業の体制整備とデータ活用	非対面営業拠点の新設
	チャネル間の融合によるお客さま体験の向上	新たな特典プログラムの検討

ライフプランサポート活動（個人のお客さま）

資産運用業務

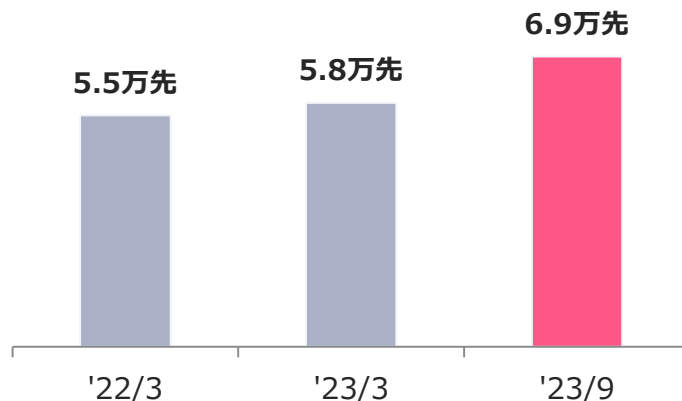
安定的な資産形成に向けた貯蓄から投資への後押し

- ◆ 新NISAは安定的な資産形成に向けたメリットが拡大
- ◆ キャンペーン等を活かした営業店での推進、本部での非対面営業の強化（WEBマーケティング・アプリ機能追加）

課題	預り資産の積み上げ（貯蓄から投資へ）
機会	新NISA制度の創設（政策後押し）

- **職域営業** グループウェアによる従業員へのアプローチ
- **ライフプランセンター** ライフイベントを捉えたコンサルティング
- **デジタル** WEB広告、アプリの利便性向上など

NISA口座数



相続関連業務

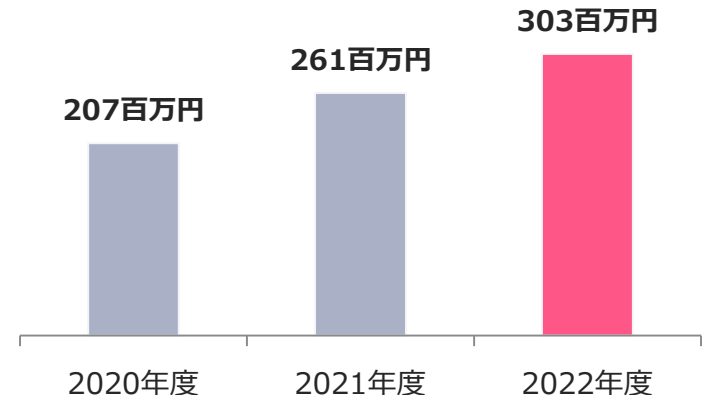
次世代への円滑な資産移転

- ◆ セグメントを明確化し、高齢富裕層のお客さま向け相続関連ビジネスに注力
- ◆ 銀行本部でのサポート体制の拡充

強み	対面での安心感・相続分野での専門性
機会	高齢化によるニーズ拡大

- **遺言作成・執行** 営業店を中心としたコンサルティング営業
- **相続税対策** 生命保険契約者・アパート経営者等へ適切なアドバイス
- **資産活用・売却** 社内のネットワーク活用やビジネスマッチング

円滑な資産移転に伴うコンサルティング収益



2. イノベーションの創出

イノベーションの創出に向けて

本計画では、「地方創生SDGsの『深化』」を着実に進めつつ、不確実性が増す環境変化に打ち克ち、地域社会の課題解決や多様化するお客さまのニーズへ応え続けていくため、イノベーションの創出を目指します。

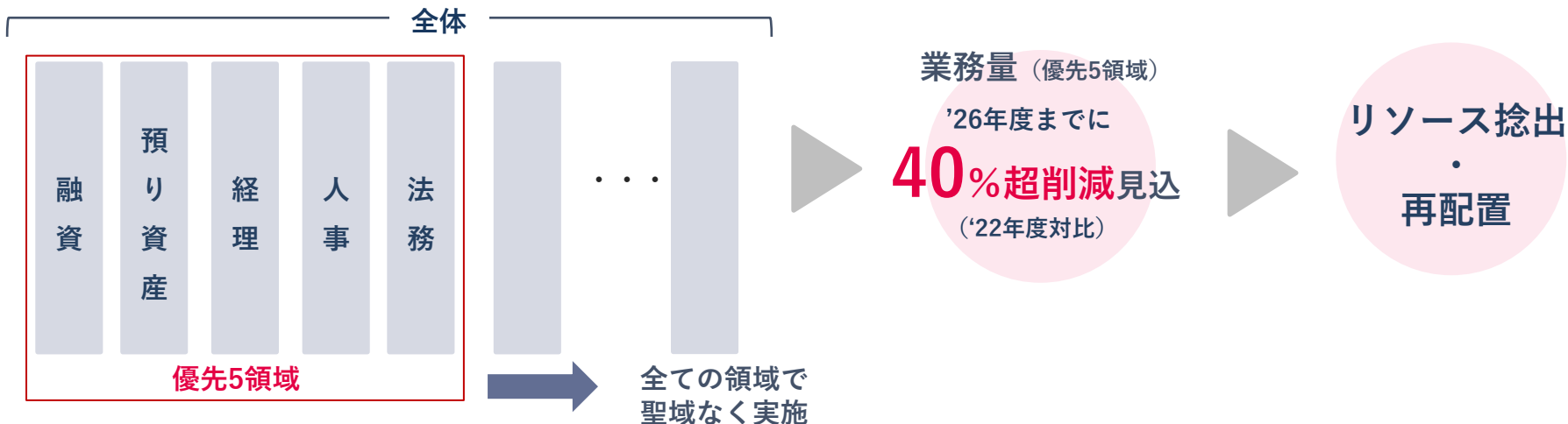
「チャレンジし続ける組織風土」の醸成や「多様な人財の価値観・感性」を活かせる組織づくりをイノベーションの原動力としながら「デジタル技術やアライアンス」を積極的に活用し、**新たな価値を共創**します。



この挑戦が、未来となる。

DXの加速

1. 業務プロセスの改革



2. 次世代チャネルへの変革

非対面取引可能率 **90%へ**（'26年度）

ちゅうぎんアプリ



ちゅうぎんビジネスポータル



当初中計策定時からさらに大きな効果を目指し、新たな「DX戦略」を策定中



DX戦略

- 1 業務プロセスの改革
- 2 次世代チャネルへの変革
- 3 新規事業の創出
- 4 組織変革の実現

15億円

(中計策定時の想定)

取組みのポイント

- 社長直轄の全社的プロジェクト
- 前中計（ステージⅠ・Ⅱ）までに実施した構造改革・行動改革
- Cキューブコンサルティングの有する高度なスキル
- 外部ベンダーに依存しない内製開発体制
- 積極的な投資（数十億～百億円規模）

中計想定を大きく上回る見込み

(現在策定中)

アライアンス戦略

異業種も含めたさまざまなステークホルダーとの積極的な連携を通じ、新たな価値の共創を目指します。

基本姿勢

- グループの企業価値向上に資する施策の共創・推進
- 地域の持続的な成長に資する施策の共創・推進

トップライン増強

コスト削減

事業領域の拡大

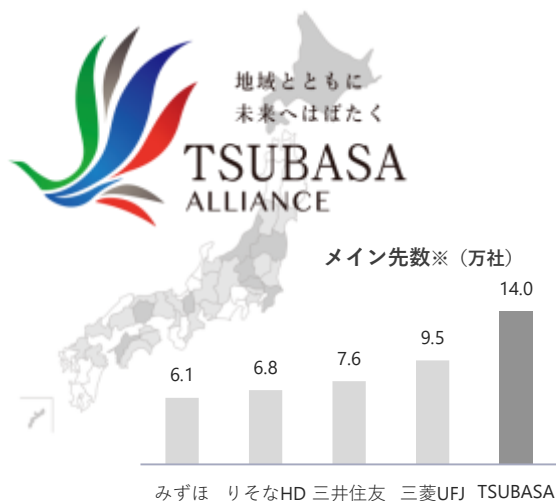
地方創生

DX化

脱炭素化

広域連携

- TSUBASAアライアンス



地銀最大規模のスケールメリットを生かし、
トップライン・コスト両面でのシナジー効果
の最大化を目指す

※出所：帝国データバンク
「全国メインバンク動向調査2022年」

地域連携

- おかやま共創パートナーシップ



- おかやま未来共創アライアンス



- 地域脱炭素創生・岡山コンソーシアム



地域課題の解決や地方創生に向けた地域内の
多様なパートナーとの連携体制を一層推進する

異業種連携

- 地方創生に関する連携協定
(PwCコンサルティング)



- ちゅうぎんキャピタルパートナーズ
によるベンチャー出資

ちゅうぎんインフィニティファンド

スタートアップと
地域のエコシステムを構築

3. グループ経営基盤の強化

グループ経営基盤の強化

地方創生SDGsの「深化」やイノベーションの創出を実現するためには、**強固なグループ経営基盤**を確立する必要があります。

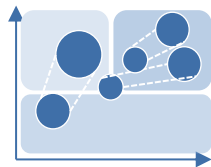
本計画では、変化し続ける経営環境に柔軟に対応するため、経営資源の適正配分・グループガバナンスの進化・人的資本の価値向上などにより、**グループ経営基盤**を強化します。

1 地方創生SDGsの「深化」

2 イノベーションの創出

3 グループ経営基盤の強化

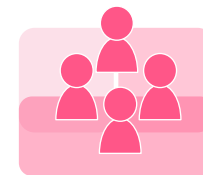
事業ポートフォリオ



- 事業運営体制
- 財務・資本政策



人財ポートフォリオ



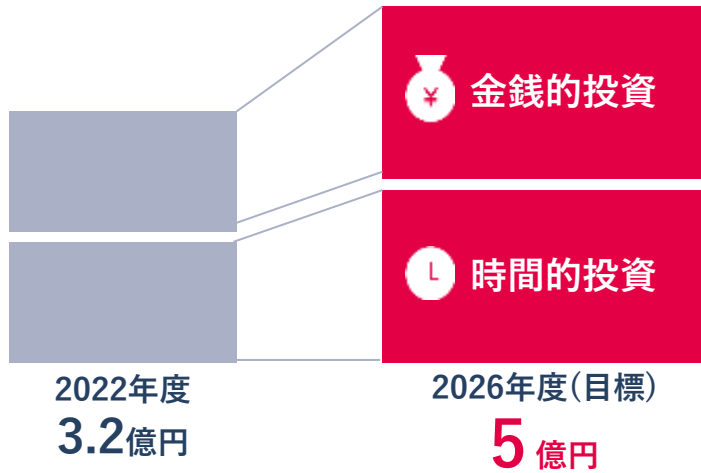
- 人的資本投資
- ダイバーシティ

グループガバナンス

- 内部統制システムの高度化
- 主体的・自律的コンプライアンスの実践
- リスクマネジメントの高度化
- グループ内部監査態勢の強化

組織風土

人的資本投資



左記に加えて

<2023年度>

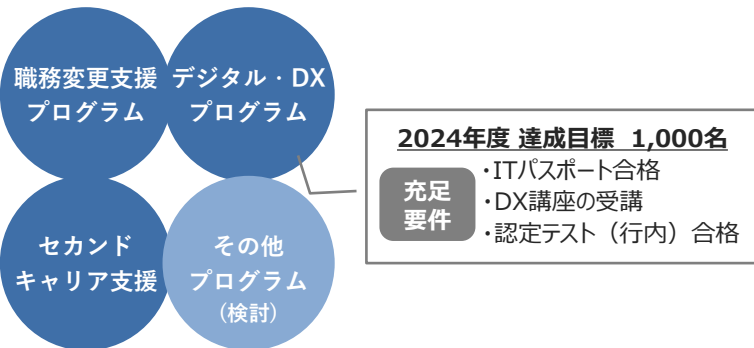
- ・ **ベースアップ +4%**
(定期昇給含む)
- ・ **タレントマネジメント
システム稼働**

<2024年度~>

- ・ **ベースアップ +5.4%**
(定期昇給含む)
- ・ **初任給引き上げ
など**

※人財データの分析・活用によって
人事戦略の高度化を行う一元管理システム

リスキリング



※職務変更支援プログラム (法人営業への職務変更) : 拡大予定 (実施中))
 ※セカンドキャリア支援: '23年度より体系化

エンゲージメント



- フラットミーティング
- イクボス推進・表彰
- キャリアコンサルティング
- 「今」と「これから」を語る会
- 社内メンター制度
- スローガン等の活用・発信 など

実行

検証

パルスサーベイ

高頻度のサーベイを実施

- ・従業員の感情面
- ・会社の発信に対する反応を定期的に把握

ダイバーシティ & インクルージョン (D&I)

D&I NEXT10推進部の新設

NEXT10 推進室 ('15/6~)

常に次の10年を見据えた、各種施策の立案・推進
(CS・ES、ダイバーシティ、「ちゅうぎんバリュー」)

グループ全体の取組み加速

D&I NEXT10 推進部 ('23/6~)

- ・ D&I推進領域の拡大
- ・ 次の10年を見据えた新たな取組みの企画

<企画事例> にじいろ Heart プロジェクト

- ・ 女性の視点や感性を経営や各種施策に活かすためのワーキンググループとして立ち上げ (2014年~)
- ・ 第4期からは男性メンバーも加わり、年齢や職位に関わらず幅広いメンバーで活動を実施
- ・ プロジェクト提言により、フレックス制度や副業などが実現

'24年度より、第5期を開始予定



女性活躍推進

女性管理・監督者比率

('22年度実績)	('23/10月実績)	('26年度目標)	('30年度目標)
13.4 %	▶ 17.5 %	▶ 25.0 %	▶ 30.0 %

<活躍を促す各種制度>

メンター制度 (TSUBASAクロスメンター、社内メンター)
女性役席者交流会、ダイバーシティ関連研修など

キャリア採用・専門コース

キャリア採用者数

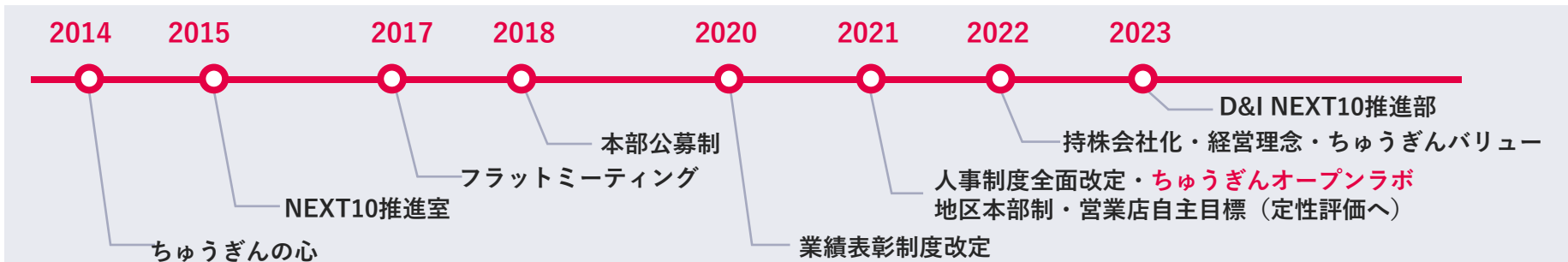
('23/11月時点)	('23/4~'27/3計画)
22 名	／ 200 名

採用方針

【新卒：キャリア】
2 : 1

<採用分野>

コンサルタント、SE、広報・ブランディング、シェアード業務、
地域商社、財務・税務、不動産関連、国際業務、人材紹介など



ちゅうぎんオープンラボ

'21年より開始の社内ベンチャー制度（これまで累計**49**チーム、**200名超**が参加）

< 事業化事例 >

『ちゅうぎんCMサービス MITAI』
— 営業店等でのお客さまPR動画放映 —

ちゅうぎんCMサービス
MITAI
“地元地域を知る場”を提供し、地元地域をつなぐ
コミュニケーションチャンネル

中国銀行の県内外の店舗で
「広告放映」

3つの特徴

- 01 1秒あたり15秒の
広告放映ができます
※最大20秒まで放映可能
- 02 月間累計10万人の
幅広いお客さまへ訴求できます
※県上層階の店舗、土曜日の店舗で放映、※月
間累計17万回以上放映実績あり11店舗
- 03 動画の制作もサポートします
※動画制作費は別途見積り

『相続手続き共通化』
— 近隣金融機関と連携したお客さま利便性向上 —

中国銀行 BANK トマト銀行 広島銀行 広島信用金庫

令和4年9月28日
株式会社中国銀行
株式会社トマト銀行
株式会社広島銀行
広島信用金庫

近隣金融機関との「相続手続きの共通化」について

この度、近隣4金融機関（株式会社中国銀行 頭取 加藤 貞則、株式会社トマト銀行 取締役社長 高木 晶裕、株式会社広島銀行 頭取 清宗 一男、広島信用金庫 理事長 川上 武）で連携し、預金等の相続手続きを共通化することを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。
提携金融機関では、お客さまの一層の利便性向上に向けて、今後も取組んでまいります。

- 提携金融機関
株式会社中国銀行、株式会社トマト銀行、株式会社広島銀行、広島信用金庫
(10月3日以降も提携金融機関の拡大を進めてまいります)
- 連携の目的
・金融機関ごとに相続手続きにかかる書類・手続きが異なるといった煩雑さを解消し、スムーズな相続手続きを実現
（※本件はあくまで提携金融機関間の連携によるもので、相続手続きの法的根拠は関係ありません）

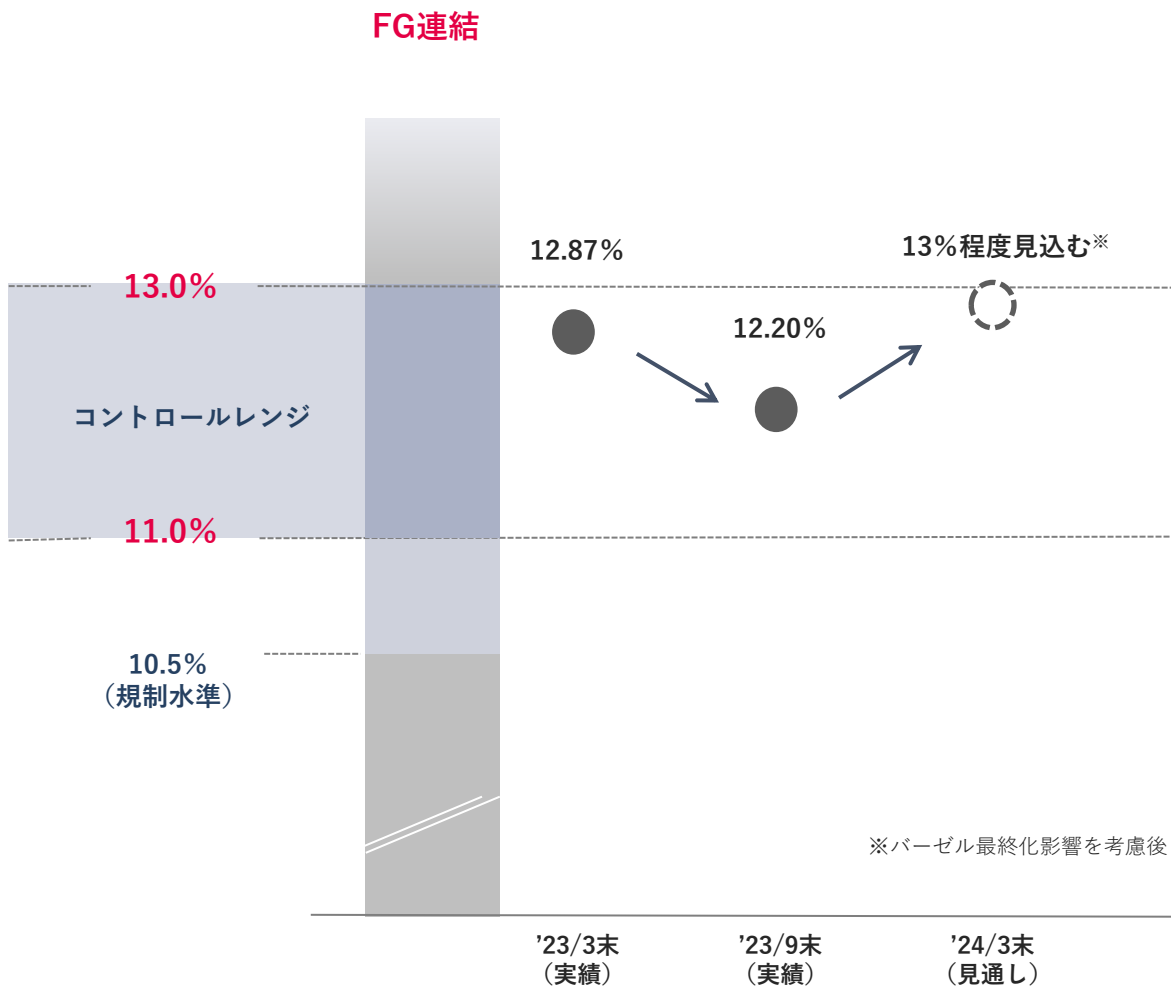
『ちゅうぎんエナジー』
— 脱炭素関連事業を営む
地域エネルギー会社 —



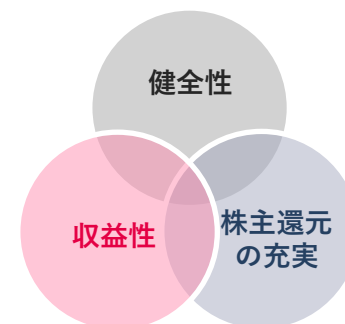
※ 詳細はp.23にて記載

資本のコントロールと戦略的活用

連結総自己資本比率のコントロール



資本の考え方



3つの要素のバランス

'23年度より自己資本比率
コントロールを導入

地域金融機関として
一定の健全性は維持しつつ、
コントロールレンジ超過部分は

“さらなる収益機会の獲得”

“株主還元”

など戦略的活用を行う

Ⅲ. 株主還元

株主還元方針

2023年度 還元方針

配当と自己株取得による総還元率**40%**以上（連結）

- ✓ 2023年度の配当（予定）は**30**円（中間・期末それぞれ15円）
- ✓ **安定的・継続的な配当の拡大**と資本コントロールを通じた**機動的な自己株取得**

総還元率

36.2%

38.2%

36.9%

38.9%

41.6%

40%以上

※'19年度まで：中国銀行単体利益ベース
'20年度以降：中国銀行連結利益ベース
'22年度以降：ちゅうぎんFG連結利益ベース

1株当たり配当

22円

22円

23円

28円

30円

30円

総還元額

55億円

41億円

53億円

71億円

85億円

自己株取得

14

10

19

30

※株主総会を起点とする
1年間に実施したもの。

配当総額

41

41

43

52

55

配当と自己株取得により
総還元率40%以上

2018年度

2019年度

2020年度

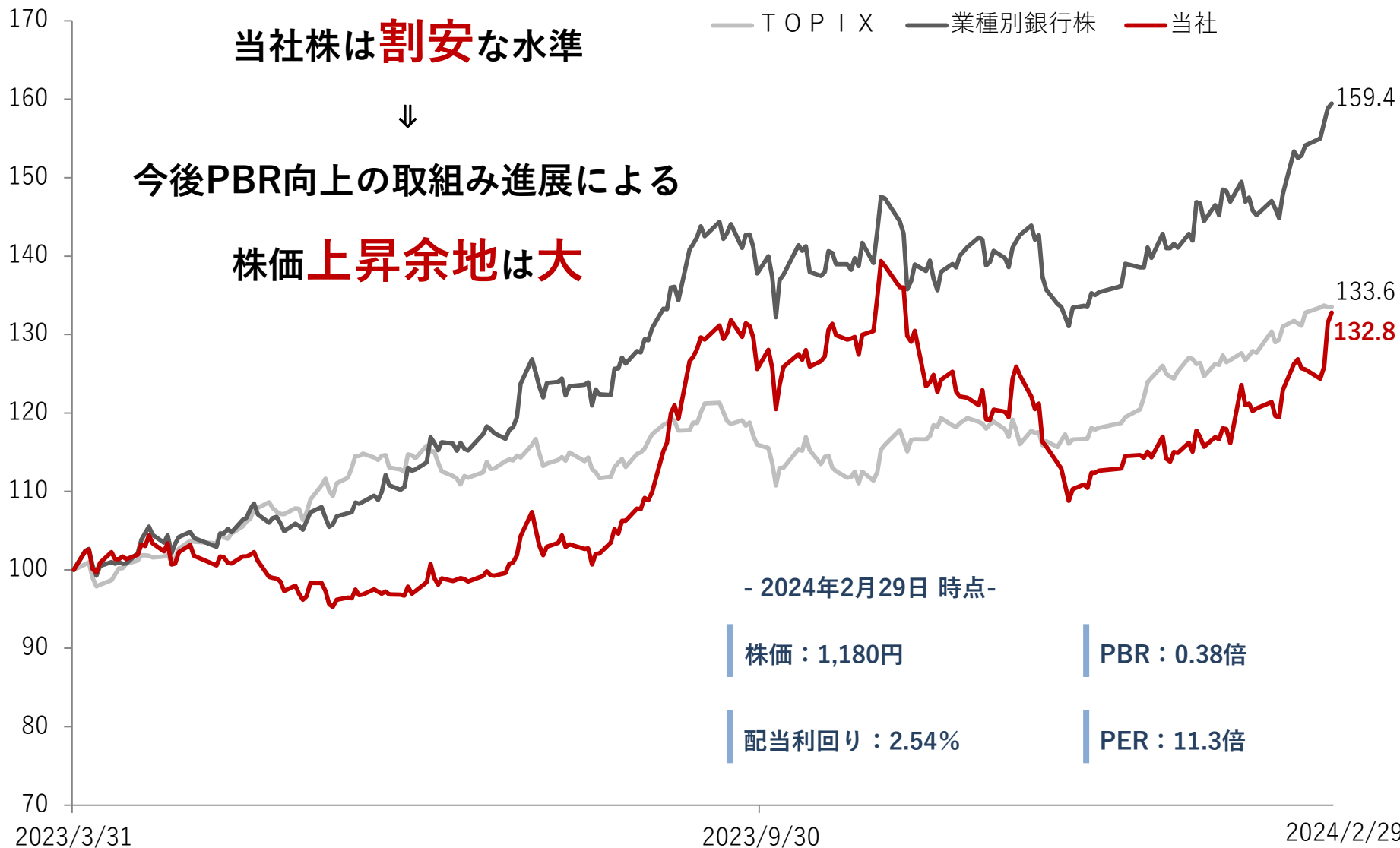
2021年度

2022年度

2023年度

株価推移・主要指標

※ 2023年3月31日 = 100



配当利回り = 1株あたり配当金 ('23年度予想30円) ÷ 株価、
PBR = 株価 ÷ 1株あたり純資産、 PER = 株価 ÷ 1株あたり純利益

株主優待制度

【株主優待制度の対象となる株主さま】

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された500株以上保有の株主さまのうち、**継続して1年以上保有**している株主さま

【株主優待制度の内容（3コース）】

1. 岡山県特産品コース

カタログに記載された岡山県の特産品からお好みの商品をお選びいただけます。

保有株数	優待商品
500株以上 5,000株未満	5,000円相当の岡山県特産品
5,000株以上	10,000円相当の岡山県特産品



2. 寄付金コース

3. TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース

株主優待制度（カタログ掲載例）

【「晴れの国おかやま」が自信を持ってお届けする、贅沢果実】



晴れの国おかやま特産の桃は、ジューシーな甘さと上品な風味が特徴です。
岡山特産の桃をお届け。ジューシーな甘さと上品な風味をお楽しみください。出荷時期によって品種が移行します。（白鳳→清水白桃→おかやま夢白桃→白麗など）



皮ごと食べられて、糖度も高い「シャインマスカット」。高級ぶどうのいいところが全て詰まった果実です。
皮が薄く、種もないので皮ごと食べることが出来ます。糖度も高くマスカット香をもち、高級ぶどうの長所をすべて取り込んだかのような品種です。特殊紙で包装いたします。

【豊かな風土が育んだ、岡山の絶品ブランド】



岡山が誇る高級ブランド牛をご家庭で。上品な霜降りと赤身をご堪能ください。
岡山を代表するブランド牛です。緑豊かな新見市で大切に肥育されてきました。手塩にかけて育てたブランド牛です。ほどよい霜降りと赤身をご堪能ください。



潮流の速い下津井沖で育った真だこは、歯ごたえ、旨みともに絶品です。
倉敷市下津井の真だこは、岡山県の漁業資源に指定されている食材です。潮流の速い下津井沖で育った真だこは、足が短くて大変太く、食べても甘いのが特長です。



この挑戦が、未来となる。

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

本資料には将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

本件に関するお問合せ先

株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ 経営企画部 清水・松尾

TEL : 086-234-6519

Eメール : souki01@chugin.jp